原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】 <mark>※非特定事業者用</mark>					
上富田町				銘柄コード 8000020304042	
日本標準産業分類	コード	項目名	エネルギー総使用量	25,626 GJ 661 kl	【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】
中分類	361	上水道業	前年度エネルギー総使用量	kQ	
細分類 (申請事業)	3611	上水道業	非化石エネルギー総使用量	GJ kl	
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】		調整後温室効果ガス 排出量	t-CO ₂	
【エネルギーの使用の合理化】	【エネルギーの使用の合理化】		【調整後温室効果ガス排出	量の算定に用いた認証排出削減量等の量】	【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】
主たる事業における		原単位分母	種別	合計量	1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
エネルギー消費原単位 ^{※注} (2024年度実績)	主たる事業の構成割			t-CO2	1. エイルイ の
事業者全体のエネルギー消費原単位		021 2022 2023 2024 丰度 年度 年度 年度	-	- t-CO2	率の向上及び消費電力の削減を図る。 ② 漏水防止対策の推進
対前年度比			-	- t-CO2	漏水を防止することにより、水道システム全体として管理すべき必要水量を総体的に減少させ、取水・送水・配水に係るポンプの消 費電力削減を図る。
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)			-	- t-CO2	
※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業 分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。 2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項					
【電気の需要の最適化】			【非化石エネルギーへの	云换 】	施設で使用する電力について、一部を非化石電力メニューへ転換する。
主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)		原単位分母	電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気	
DR実施日数		'	目標(2030年度)	35.0% 2020 2021 2022 2023 2024	
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比		021 2022 2023 2024 丰度 年度 年度 年度	直近5年度間の実績値	年度 年度 年度 年度 年度 4 4 2 4 2 4 6 4 6 6 4 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 7 6 7 </td <td></td>	
事業者全体の 5年度間平均原単位変化			目安設定業種		【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】
【ベンチマーク指標の状況(合) ベンチマーク区分	単化)】		目安(2030年度)		1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
目指すべき水準		kl/t以下	目標(2030年度)		
ベンチマーク指標の状況			日保(2030年度)	2020 2021 2022 2023 2024	
ベンチマーク区分			直近5年度間の実績値	年度 年度 年度 年度	
目指すべき水準		kl/t以下	目安設定業種		2. 関連リンク
ベンチマーク指標の状況					
ベンチマーク区分	-	-	目安(2030年度)	-	
目指すべき水準		-		-	
ベンチマーク指標の状況		-	目標(2030年度)	-	
ベンチマーク区分	-	-		2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度	(77.47.42.)
目指すべき水準		-	直近5年度間の実績値	年度 年度 年度 年度 一	(注意事項) ・赤枠囲み欄は必須記載です。
ベンチマーク指標の状況		-			・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、 情報の公表を継続する必要があります。
					•